



## ソニー株式会社新卒採用マイページ

Message Box 0

アカウント管理

[トップ](#)[トップページ](#) > [プロフィールシート](#)

## 顔写真

顔写真アップロード



## お名前

漢字氏名  
(全角入力のみ)

梶原 裕希

カナ氏名  
(全角カナ入力のみ)

カジハラ ユキ

## 生年月日・性別

生年月日

1993年12月10日

性別

女性

## 現住所

郵便番号  
(半角数字7桁のみ)

113-0033

都道府県

東京都

市区郡・地名・番地  
(全角入力のみ)

文京区本郷6-18-9

アパート・マンション名・番  
号  
(全角入力のみ)

ペガサスマンション本郷803

電話番号  
(半角数字のみ)

携帯電話番号 (半角数字のみ)	080-3273-6662
メールアドレス (半角入力のみ) ※メールアドレスを誤ってご登録された場合、今後弊グループからのメールが受信できなくなりますので、ご注意ください。	kajihara@trip.t.u-tokyo.ac.jp
大学情報	
大学名	東京大学
学部名	工学系研究科
学科名	社会基盤学専攻
申告文理区分	理系
出身大学（出身学校）名	東京大学
出身学部名	工学部
出身学科名	建築学科
出身大学（出身学校）入学・卒業 年月	2013/04～2017/03
入学年月	2017年04月
課程・コース・専修・領域・分野等の名称 (学科・専攻等の下位の分類)	
研究室またはゼミ名	地域／情報研究室
指導教員氏名	氏名： 布施 孝志
就職担当教員 漢字氏名	氏名：
就職担当教員 カナ氏名	カナ氏名：
就職担当教員 職名	
就業経験	
卒業後の就業経験	職歴なし
入社年月	
退社年月	
会社名・部署名	

仕事内容	
語学	
日本語の会話レベル	母国語
日本語の読み書きレベル	母国語
日本語に関する資格	
英語の会話レベル	日常会話レベル
英語の読み書きレベル	ビジネスレベル
英語に関する資格	IELTS 6.5
TOEIC点数	
TOEIC取得年月	
その他語学名	ロシア語
その他語学の会話レベル	日常会話レベル
その他語学の読み書きレベル	日常会話レベル
その他語学に関する資格	
<b>海外居住経験</b> 半年以上の海外居住経験がある場合は 滞在国名称、滞在期間、滞在事由をご記入ください。 ※複数ある場合は期間の長いものから2つをご記入ください	
滞在国1	
滞在期間1	
滞在事由1	
滞在国2	
滞在期間2	
滞在事由2	
利用した留学の 制度・プログラム等	
資格	
保有資格	ITパスポート
希望コース	
希望コース	11.UI/UXデザイン・人間中心設計

(第1希望)	
希望コース (第2希望)	65.イメージセンサー・次世代センサー(専門性不問)
希望コース (第3希望)	79.WILL
ポテンシャル確認希望	希望する
希望コースで取り組みたいこと	<p>第1希望のコースでは、これまで大学内外の多彩な活動や留学等で多様な人々と触れ合ってきた経験から、様々な背景・価値観を持つ人々に寄り添い、言外のニーズを汲み取ってユーザー体験を提案することに携わりたいと考えております。その手段として、想定されるユーザーと可能な限り近い環境で生活し、対話や自身の体験からニーズを発見することをイメージしています。例えば、想定ユーザーが海外にいる場合は、現地で一定期間生活し、その人々の価値観を理解した上で最適な製品・サービスを考えます。また、国内においても、電車に乗って社内の人々の行動を観察するなど、フィールドワークに重きを置いた活動を行うことを考えております。</p>
<b>興味／関心のあるカテゴリー</b>	
興味／関心のあるカテゴリー	1番：クラウド・Webサービスアプリ／システム 2番：ゲーム 3番：スマートフォン・スマートプロダクト
関心のある内容と理由	<p>最近注目しているサービスは、チャットボットです。理由は、このサービスの登場により、ユーザーの思考や操作のストレスが軽減されたと感じるためです。従来の、決まったフォームに沿ってユーザーが情報を入力する「ユーザーがサービスに合わせる」構図と異なり、チャットボットでは、友人に相談するような自由文でユーザーが要求を伝える方式を取っており「サービスがユーザーに合わせる」構図に近いものとなっています。</p>
<b>スキル・経験</b>	
ITスキル	Python R MATLAB
工具・装置スキル	
所持しているスキルの 経験年数・目的	
<b>専門性・成果</b>	
専門性（テーマ概要）	<p>現在、「コンピューテーショナルフォトグラフィに基づく3次元計測による物体認識手法」と題した研究に尽力しております。コンピューテーショナルフォトグラフィとは、光学の定義、光情報の取得、画像処理という全てのプロセスを見直すことで、従来の写真技術では得られなかった情報を一回の撮影で取得することを目的としています。例えば、ライトフィールドカメラという、主レンズと撮像素子の間にマイクロレンズアレイが配置されているカメラを使うことで、少しずつ視点の異なる多視点画像やピントの異なる多焦点画像を得ることができます。私の研究の目的は、多視点画像と多焦点画像を取得可能なライトフィールドカメラを用いることで、一回の撮影で物体の3次元計測を行い、更にはその物体が何であるかの評価を行う手法を確立することです。従来のライトフィールドカメラによる3次元計測手法は多視点画像のみを利用したものでしたが、今回はそれに加えて多焦点画像も用いることで精度の向上を図ります。こうして得られた精度の高い3次元情報を元に、機械学習を用いて物体認識を行うところまで到達することを目指しております。</p>
研究成果の学会発表など	<p>2017年12月に、日本統計学会スポーツ統計分科会の主催する「第7回スポーツデータ解析コンペティション」において「Lasso回帰によるシックスマンのアクションの特徴抽出」というテーマでポスター発表を行いました。このコンペティションには研究室の同期3人で参加し、バスケットボールのスタッツを統計的に分析することで、試合において</p>

一番最初にスタメンと交代する控え選手であり、一般的には流れを変えることが求められている「シックスマン」という存在のプレーの特徴を抽出することを目指しました。	
専門性（カテゴリー）	システムソフトウェア
取り組み	
取り組み内容	私はサークル活動の一環で競技パズル(数独等の早解き)に傾倒しているのですが、2018年2月に韓国で開催されたアジア数独選手権において、全体16位、国内順位5位という成績を収めました。この成果は、前年の日本代表選抜大会で有力候補であったにも関わらずミスにより代表入りを逃すという挫折を乗り越えて得られたものでした。この困難に対し、私は次の舞台を見据えて気持ちを切り替え、自身の敗因を冷静に分析して練習に活かすという解決方法を取りました。選抜大会を振り返った時、反省点は、「難しい問題に時間をかけすぎる」「プレッシャーがかかるとミスが多くなる」の2点であることが明らかになりました。前者については、自分よりも格上の選手と対話する機会を積極的に持った結果、上位の選手ほど大会後の復習を丹念にしていることがわかったため、自分もそのようにすることにしました。後者については、緊張感のあるオンライン大会や海外のオフライン大会の一つでも多く参加することで、実戦経験を積むように心がけました。これにより、難易度の高い問題への対応力や大舞台でも動じない心を身につけ、アジア選手権での好成績に繋げることができました。
サポート	
障がいの有無	なし
障がいに関する必要なサポート内容	
提出のきっかけ等	
提出のきっかけ	1番：ソニーが出展していたイベントの説明を聞いて（学内セミナー等） 2番：ソニーの製品・ビジネスに興味があって 3番：採用Webページを見て
就職先の選択において重要視しているところ	人・カルチャー

[戻る](#)

[このページのトップへ](#)